



- ①「専門分野」
- ②「社会性」
- ③「自己理解」



- 1 ねらい：学校生活への適応が困難である一方、特定の分野で優れた能力を持つ子どもたちの個性を伸ばすための教育を行う
- 2 指導方法：通級型指導・巡回型指導：専門分野の特別指導：保護者支援
- 3 指導内容：自己理解・社会性の育成・専門分野
- 4 指導形態：個別・固定の小グループ・臨時的なグループ
- 5 指導者：2名（平成31年度までは、文科の予算で配置）
- 6 対象児童：18名（昨年度11名でスタート）

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度～
教育事業名 (所管)	①通級指導教室に関する教職員の理解啓発専門性向上事業 (文科) ②先導的実践研究加配 (文科) ③適応困難な子どもの個性を伸ばす事業 (横浜市)				
予算	国 (教材・謝金・教員2名分)	国 (教材・謝金・教員2名分)	国 (教員2名分)	横浜市	横浜市
活動内容	<p>○指導教室の環境整備</p> <p>○研究協力者の選定・依頼</p> <p>○夏の特別指導</p> <p>○総務省『若年層に対するプログラミング教育の普及推進事業』に協力</p> <p>○指導 A～E</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A 通級型指導(週1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「困る」「悩み」に対応する力を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> ➢ 困ったときに相談する ➢ 自分の気持ちを適切に言葉で伝える ○「ルール」に対応する力を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> ➢ ルールを話し合っ決めて、確認、活動する ○「自分」に関わる活動を通し自己理解・他者理解を深める <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「自分」を見つめ直す ➢ 他者に関心を持つ、共感する </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>B 巡回型指導～学校組織づくりへの支援～</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童の日常の学校生活へのアプローチ <ul style="list-style-type: none"> ➢ 自立活動的視点を取り入れた教科学習等の学習活動中での指導 ➢ 担任等とのTTによる指導を原則 ※ CO-LABO担当者による別室での自立活動の指導ではない <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【打合せ・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆児童支援専任 (特別支援教育 Co)を窓口 ◆管理職・児童支援専任・担任、その他関係職員 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> <p>よさを生かす土壌をつくる 学級経営・学校組織</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>Plan</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標の設定と共有 ●指導場面の選定 ●体制・役割の検討 <p>↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Do 指導・支援の 実行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Check 評価</div> </div> <p>←</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Action 改善</div> <p>↑</p> <p>●児童自身の特性及び願いとニーズ ●保護者の願いとニーズ ●在籍校の願いとニーズ ●在籍校の環境(物理的環境及び人的環境)</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>C 専門分野の特別指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年5～10回程度 ○児童の能力や興味関心の高い分野を中心とし、必要に応じ当該分野の専門家の協力を得て指導を行う。 ○通常の通級型指導の指導内容との関連を図り、児童の個性を引き出すとともに、それを活用する指導を行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><例></p> <ul style="list-style-type: none"> 【社会】横浜わかば学園 教諭 【生物】サイエンスフロンティア高校 飯島小学校 校長 【情報】合同会社デジタルポケット DoCoMo 【脳科学】青山学院大学 米田教授 【地学：歴史】三殿台考古館 館長 【数学】洋光台第一中学校 教諭 【国語】絵本作家・落語家 保科氏 【音楽】作曲家 春畑セロリ氏 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>D 本人参加型会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年2回程度 ○参加者・・・本人、保護者、担任、特別支援教育 CO、コラボ担当 ○目的・・・本人の思い・願いの実現のための会議。本人の思いや願いの実現のための応援、助言をする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>E 個別の指導計画(コラボ研究計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参加者・・・本人、コラボ担当者、(グループメンバー) 友達のアドバイスも参考にしながら「コラボ研究計画」を立てる。 ○目的・・・本人が主体となって「自分のめあて」を立て、生活の中で、PDCAサイクルに沿って取り組む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> <p>Plan (願い・めあて)</p> <p>↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Action (見直し)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Do (具体的な工夫)</div> </div> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Check (評価、振り返り)</div> <p>↑</p> </div> </div>				

①施設面

- ・特設センターの2指導室+仏向小の施設利用による通級指導 ⇒ 新しい通級のスタイルの模索

②研究という位置付け

- ・新しい試みが児童・保護者、学校の協力が得やすく通級の可能性を模索できた ⇒ 強みを生かす自立活動

③巡回指導による在籍校の支援

- ・児童支援専任を窓口医療機関等とのケース会議を実施。
- ・在籍校教員の配慮が必要な子についての理解を深めた。(不登校児童の対応を含む) ⇒ 担任の児童理解力向上・不登校児への支援
- ・特別支援教室の活用方法について助言。

④通級担当者の育成

- ・巡回型指導への助言を通し、担当者の育成を図る